

登録コード	HB392600	開講年度	2026					
授業題目	呼吸器外科学特論				担当教員	清水 公裕 他		
英文授業名	Respiratory Surgery				副担当	濱中 一敏		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HB4年制加							
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力					他領域の知見・知識を俯瞰・吸収して呼吸器外科領域のみならず社会全体の発展に貢献するような研究を発想できるようになる。		
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					大学の使命である、新たな治療法と診断技術の開発を生み出せるような応用力を身につける。		
(2)詳細 /Detailed information	本邦の癌で死亡数が最も多い肺癌や、頻度は高くないが多彩な臨床像を示す胸腺腫などの縦隔腫瘍について、疫学や治療方法、現在の臨床で課題となっていることを講義で学び、新規治療戦略に繋がるようなトランスレーショナル・リサーチを、培養細胞やマウス担癌モデル、臨床検体を用いて行う。							
(3)授業の概要 /Overview of course	オムニバス方式で全 1 5 回の講義を行う。肺癌や縦隔腫瘍のバイオロジーについて履修した後、現在の治療の問題点や限界について検討し、今後の治療戦略について考察する。							
(4)授業計画 /Course plan	・肺癌や縦隔腫瘍（胸腺腫など）の疫学、診断方法、外科的治療、放射線療法、薬物療法について、講義を通して学ぶ（全 3 回）。 ・臨床で課題となっていることを検証し、新規治療戦略を開発するための基礎的医学研究を、培養細胞、臨床検体、マウス担癌モデルなどを用いて行う（全 1 2 回）。							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	レポートの提出により行う。							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria								
(7)履修上の注意 ・事前事後学習の内容/Notes	出席も重要な評価項目になります。							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜受け付けます。							
(9)授業の形式 /Course format	講義と演習を行う。							
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない。							
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない。							